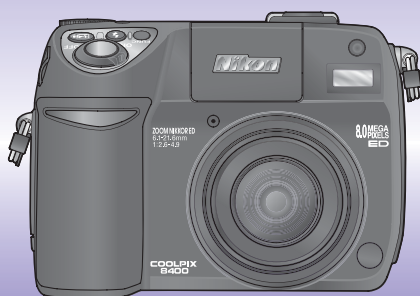
Nikon

ニコンデジタルカメラ

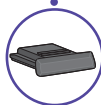
COOLPIX 8400

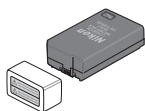
クールピクス **8400**

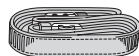
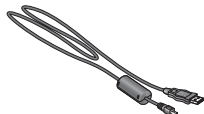
クイックスタートガイド

目次

箱の中身を確認します

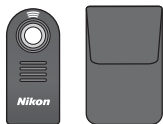
箱からカメラと付属品を取り出し、以下のものがすべてそろっていることを確認してください。

COOLPIX8400 カメラ本体

アクセサリーシューカバー（カメラ本体に装着）

コンパクトフラッシュカード（以下CFカード）は付属しておりません。

リチャージャブルバッテリー EN-EL7（端子カバー付）

バッテリーチャージャー MH-56（電源コード付）

ストラップ

USB ケーブル UC-E6

AV（オーディオビデオ）ケーブル EG-CP14

レンズキャップ（レンズキャップ用ひも付）

リモコン ML-L3（キャリングケース付）

クイックスタートガイド（本紙）

使用説明書

Nikon
保証書

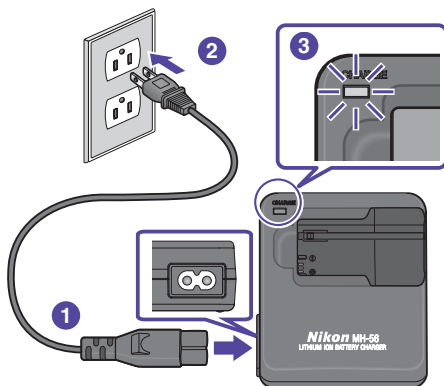
保証書

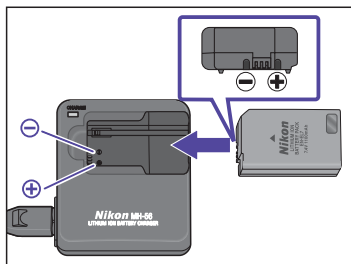
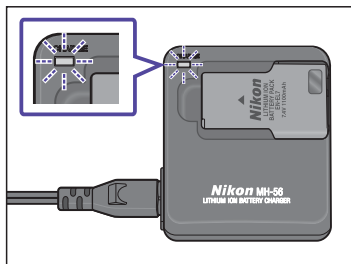
PictureProject ソフトウェア CD-ROM（黄色）

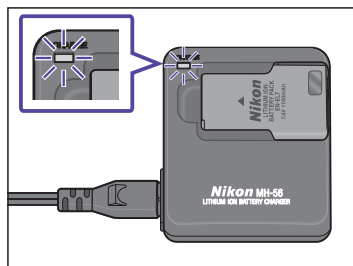
PictureProject リファレンスマニュアル CD-ROM（ソフトウェアガイド）

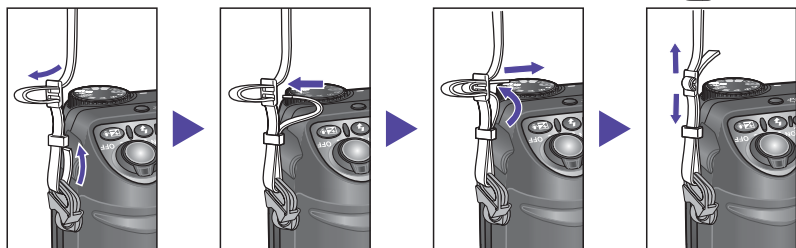
Step 1 バッテリーを充電します

1 バッテリーチャージャーの電源コードを接続します。

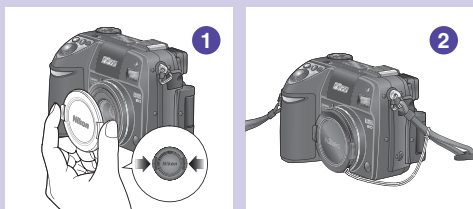
- 電源コードの ACプラグを ACプラグ差込み口に（❶）、電源プラグをコンセントに差し込みます（❷）。CHARGE ランプが点灯して、通電中であることをお知らせします（❸）。

2 付属のリチャージャブルバッテリー EN-EL7 の端子カバーを外して、バッテリーチャージャーにセットします。

- バッテリーの端子部側からセットしてください。

3 CHARGE ランプが点滅し、充電が始まります。

4 CHARGE ランプが点灯したら充電が完了です。

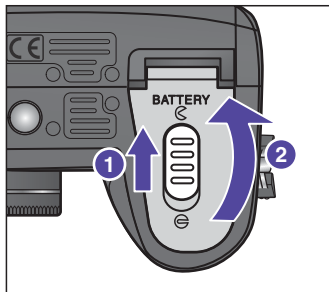
充電時間は残量のない状態で約 2 時間 30 分です。

Step 2 ストラップを取り付けます

ストラップをカメラのストラップ取り付け部（2 ヶ所）に取り付けます。

レンズキャップについて

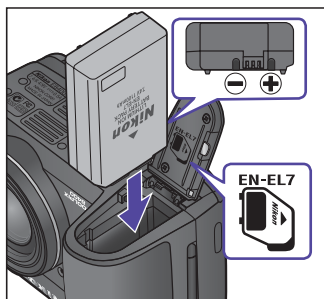
レンズキャップの取り付け・取り外しは、レンズキャップ装着レバーを押し込んで行います（❶）。

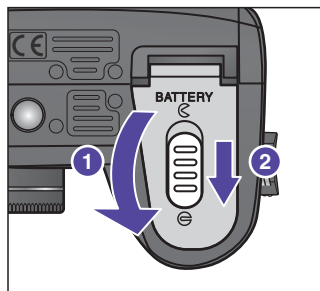
レンズキャップの紛失を防止するため、付属のひもをレンズキャップの穴に通して、ストラップに結んでおくことをおすすめします（❷）。

Step 3 バッテリーを入れます

1 カメラの電源が OFF になっていることを確認して、バッテリーカバーを開けます。

- カメラの底面にあるバッテリーカバー開閉ノブ を 側にスライドさせて（❶）、バッテリーカバーを開けます（❷）。

2 バッテリーを入れます。

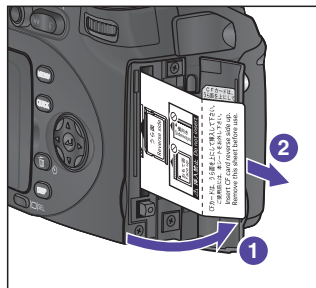
- バッテリーカバー裏側にある図に合わせて、＋と－を正しい向きで入れてください。

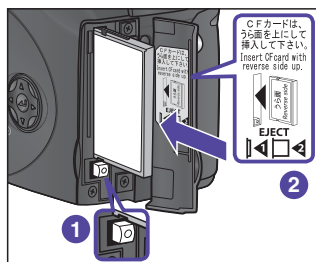
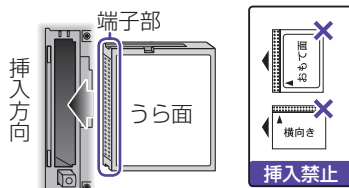
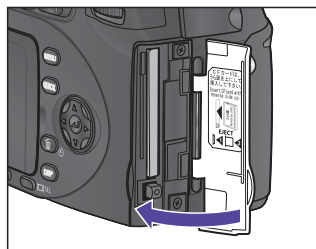
> 向きを間違えて挿入すると、カメラが破損するおそれがあります。
> 正しい方向になっているか、よくご確認ください。

3 バッテリカバーを閉じます。

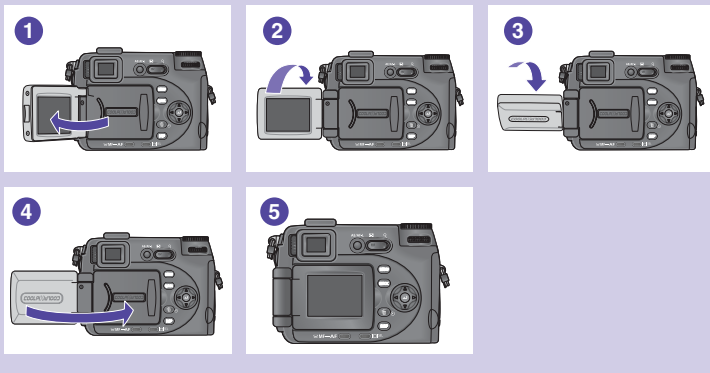
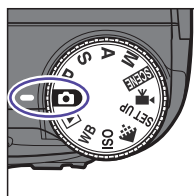
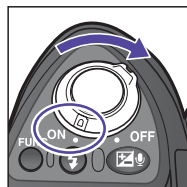
- バッテリーカバーを閉じて（❶）、開閉ノブ を 側にスライドさせます（❷）。
- カバーがしっかり閉じていることをご確認ください。

Step 4 CF カードを入れます

COOLPIX8400 で撮影した画像は CF カードに記録されます。

1 CF カードカバーを開けます（❶）。

- はじめてご使用になる場合は、CF カードスロットの中に CF カードの挿入方法が書かれた黄色のシートが入っています。CF カードを入れる前に取り出してよくお読みください（❷）。

2 CF カードを入れます。

- イジェクトレバーが押し込まれていることを確認し（❶）、CF カードをカバー裏側にある図のように**うら面**を手前に向けて、矢印方向にしっかりと奥まで挿入します（❷）。

向きを間違えて挿入すると、カメラおよび CF カードを破損するおそれがあります。正しい方向になっているか、よくご確認ください。

3 CF カードカバーを閉じます。

Step 5 電源を入れます

1 液晶モニタを開きます。

❶
❷
❸
❹
❺
2 レンズキャップを取り外し、モードダイヤルを 📷（オート撮影モード）に合わせます。

3 カメラの電源スイッチを矢印方向へ回し、電源を ON にします。

液晶モニタの消灯

カメラの電源を ON にして、カメラを操作しないまま約 1 分間（初期設定）が経過すると、オートパワーオフ機能が作動し、液晶モニタが消灯します。

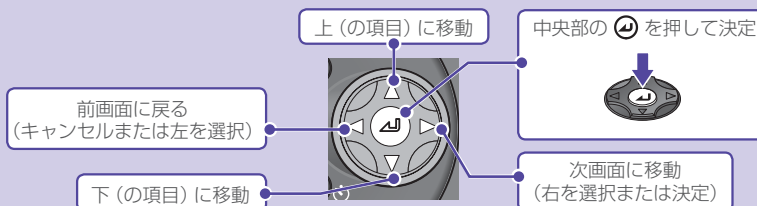
再度点灯させるには、DISP（表示切り換え）ボタン、QUICK（クイックレビュー）ボタン、MENU（メニュー）ボタンを押すか、モードダイヤルを切り換えるか、シャッターボタンを半押ししてください。

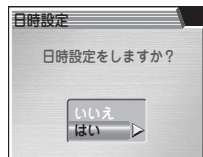
Step 6 言語と日時を設定します

はじめてご使用になるときは、言語と日時を設定する画面が自動的に表示されます。以下の手順で設定してください。

- 日時を設定すると、撮影した画像に撮影日時が情報として記録されます。ただし日時を設定しただけではプリント時に日付は写し込まれません。日付の写し込みについては使用説明書の 101 ページをご覧ください。

言語と日時の設定には、マルチセレクターを使用します。

1

マルチセレクターの △、▽、◁、▷ を押して、言語を選択します。

2

⏎ を押すと、「日時設定」画面に切り換わります。「はい」が赤く表示されていることを確認します。

3

マルチセレクターの ▷ を押すと、「自宅の設定」画面が表示されます。

4

◁ または ▷ を押して、自宅のあるタイムゾーンを選択します。

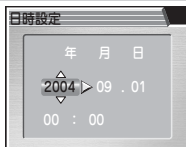
5

⏎ を押すと、自宅のあるタイムゾーンが決定して、「ワールドタイム」画面が表示されます。

6

夏時間を設定しない場合は、そのまま **7** にお進みください。
夏時間を設定する場合は、マルチセレクターの ▽ を押して「夏時間」を選択します。⏎ を押すと、□ が ☑ に切り換わり、夏時間が設定されます。夏時間の設定後、マルチセレクターの △ を押して、都市名の項目に戻ります。

- ⏎ を押すたびに、夏時間の □ と ☑ が切り換わります。
- 夏時間を設定すると、時刻が 1 時間進みます。ただし、日本国内では設定する必要はありません。

7

マルチセレクターの ⏎ を押すと、日時設定の画面に戻ります。

8

「年」が点滅します。△ または ▽ を押して、年を合わせます。

9

▷ を押して、「月」の設定に移ります。**8** と **9** の手順を繰り返して、月、日、時、分を順番に合わせます。

10

▷ を押すと、「年月日」の位置が点滅します。

11

△ または ▽ を押して、年月日の表示順を「年月日」「日月年」「月日年」の中から選択します。

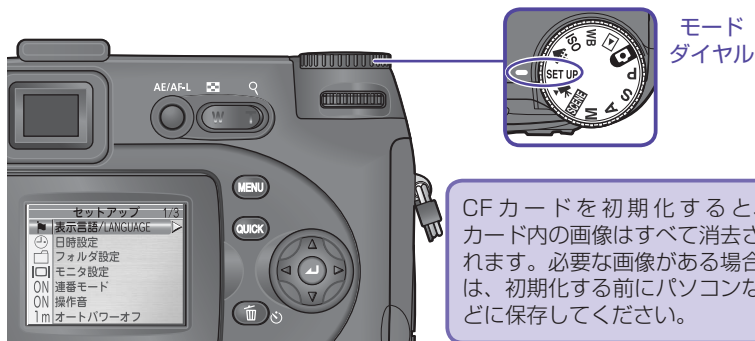
12

⏎ を押すと、日時が決定して、撮影画面に切り換わります。

Step 7 CFカードを初期化します

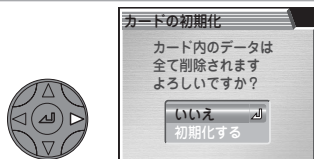
はじめてCOOLPIX8400で使用するCFカードは、あらかじめ初期化する必要があります。以下の手順にしたがって、CFカードを初期化してください。

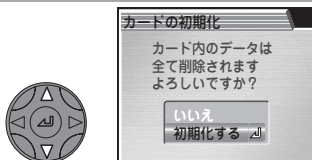
1 モードダイヤルを **SET UP**（セットアップモード）に合わせます。

- 液晶モニタにセットアップメニューが表示されます。

CFカードを初期化すると、カード内の画像はすべて消去されます。必要な画像がある場合は、初期化する前にパソコンなどに保存してください。

2

マルチセレクターの △ または ▽ を押して「カードの初期化」（セットアップメニュー2ページ目）を選択します。

3

▷ を押すと、「カードの初期化」画面が表示されます。

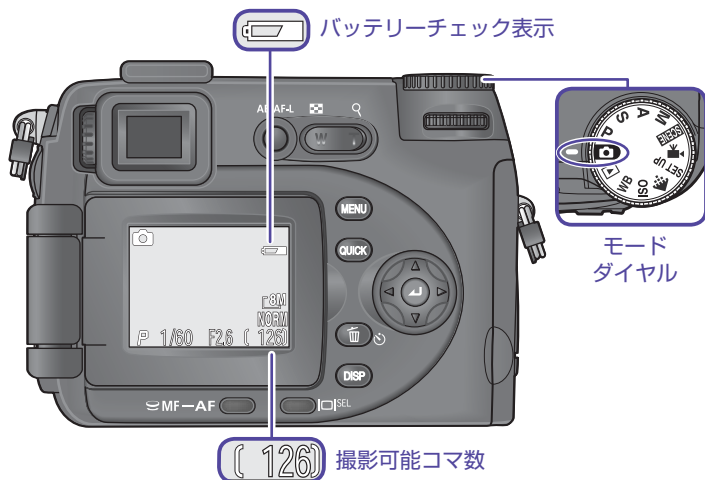
4

△ または ▽ を押して、「初期化する」を選択します。

5

↵ を押すと、初期化が始まります。「カード初期化終了」画面が表示されたら、初期化終了です。

Step 8 撮影します

ここでは、カメラまかせのオート撮影で撮影する方法について説明します。

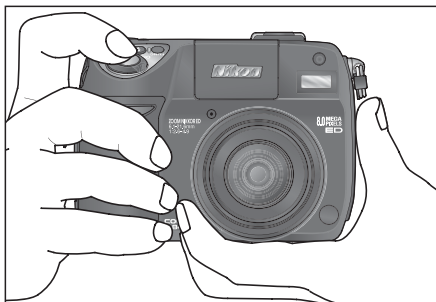
1 モードダイヤルを 📷（オート撮影モード）に合わせて、液晶モニタ上でバッテリーの残量および撮影可能コマ数を確認します。

バッテリーチェック表示

※ 残量が少なくなったときに表示されます。

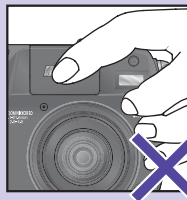
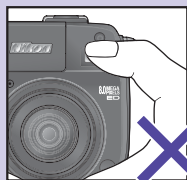
バッテリーチェック表示の意味は次のとおりです。

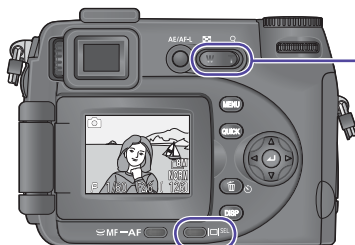
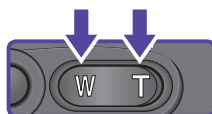
液晶モニタ	意味	カメラの状態
表示なし	バッテリーの残量は充分です。	撮影できます。
（点灯）	バッテリーの残量が少なくなりました。 バッテリーを交換する準備をしてください。	撮影できますが、内蔵スピードライト発光後の充電中に液晶モニタが消灯します。
電池残量がありません	バッテリーの残量がなくなりました。充電済みのバッテリーと交換してください。	撮影できません。

2 カメラを構えます。

• 手ブレを防ぐため、カメラは両手でしっかりと持ってください。

カメラを構える時のご注意

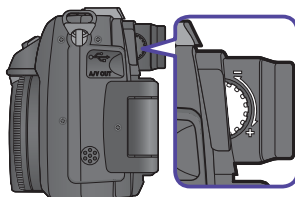
• 撮影の際に、レンズや内蔵スピードライト発光部、マイク、AF 補助光（LED）、AF 測距センサーなどに指や髪、ストラップがかからないようにご注意ください。

• 被写体が暗い場合は、内蔵スピードライトが自動的にポップアップして（上がって）発光します。ポップアップした内蔵スピードライトを指などで押さえて撮影しないでください。

3 構図を決めます。

- 写したいもの（被写体）を画面の中央に合わせ、構図を決めます。
- 構図を決めるには、液晶モニタを見ながらでも、電子ビューファインダーをのぞきながらでも、どちらでも行えます。

ズームボタン
T ボタンを押すと、レンズが望遠側にズーミングして、被写体を大きく写すことができます。
W ボタンを押すと、レンズが広角側にズーミングして、撮影する範囲が広くなります。

|□|SEL（モニタ選択）ボタン
液晶モニタと電子ビューファインダーの切り換えは、|□|SEL（モニタ選択）ボタンで行います。

電子ビューファインダーの視度調節

電子ビューファインダーの視度が合わず、被写体が見えにくい場合は、電子ビューファインダーの視度を調節することができます。被写体がもっともよく見える位置まで視度調節ダイヤルを回してください。

電子ビューファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを操作するときは、誤って指で目を傷つけないようご注意ください。

4 シャッターボタンを軽く押して（半押しして）、ピントを合わせます。

- シャッターボタンを軽く押して途中で止めることを“半押しする”といいます。シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まります。

シャッターボタンを半押ししたときの AF 表示、スピードライト表示の状態は次のとおりです。

AF 表示	緑色点灯	被写体にピントが合っています。
	緑色点滅	被写体にピントを合わせることができません。構図を変えて再度ピントを合わせてください。
スピードライト表示	赤色点灯	シャッターボタンを押し込むと、内蔵スピードライトが発光します。
	赤色点滅	内蔵スピードライトは充電中です。
	非表示	内蔵スピードライトは発光しません。

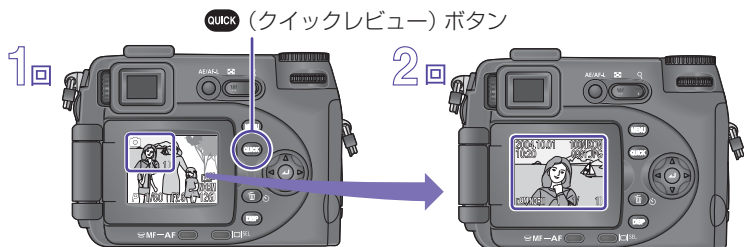
5 半押ししたまま、ゆっくりと最後まで押し込み、撮影します。

- シャッターボタンを一気に押すと手ブレの原因になります。シャッターボタンはゆっくりと最後まで押し込んでください。

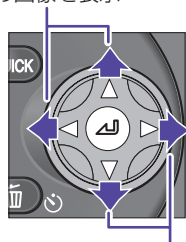
シャッターボタンを軽く押して途中で止める（半押しする）と、ピントと露出が決まり、半押し中は固定されます。半押ししたまま、さらに深く押し込むとシャッターがきれて撮影できます。

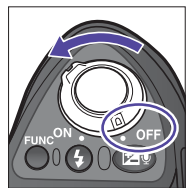
Step 9 撮影した画像を確認します

1 オート撮影モード時に QUICK（クイックレビュー）ボタンを押します。

- 液晶モニタに、撮影した画像が表示されます。

QUICK ボタンを 1 回押すと、液晶モニタの左上に縮小画像が表示されます。もう 1 回押すと液晶モニタ全体に表示されます。

2 マルチセレクターで他の画像を確認します。

- マルチセレクターを ◁ または △ に押すと、前の画像を見ることができます。▷ または ▽ に押すと、次の画像を見ることができます。
- シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影画面に戻って、いつでも撮影できます。

3 撮影が終わったら、電源を OFF にします。

- 電源スイッチを矢印の方向に回します。

これで、COOLPIX8400 のカンタンな使い方の説明は終了です。

次ページの「画像をパソコンへ転送します」へお進みください。パソコンに撮影した画像を転送すると、画像をパソコンで見たり、編集したり、整理することができます。

画像をパソコンに転送します

COOLPIX8400 で撮影した画像は、パソコンに転送して様々な用途に活用できます。ここでは、ご使用のパソコンに画像を転送する方法を簡単に説明します。

Step 1 PictureProject（ピクチャープロジェクト）をインストールします

Windows P.16

対応 OS

Windows XP Home Edition/Professional

Windows 2000 Professional

Windows Millennium Edition（Me）

Windows 98 Second Edition（SE）

※すべてプリインストールモデルに対応
※ USB ポートが標準装備されているモデルに対応

Macintosh P.22

対応 OS

Mac OS X（10.1.5 以降）

※ USB ポートが標準装備されているモデルに対応

※ 対応 OS の最新情報に関しては、当社ホームページのサポート情報をご覧下さい。
http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

Step 2 画像を転送します P.28

RAW 画像について

RAW 画像をパソコンの画面に表示するには、PictureProject Version 1.0.1 以降が必要です。PictureProject をインストールして起動した後、ソフトウェアのバージョンアップをお知らせするダイアログの指示にしたがって、Version1.0.1 以降にバージョンアップしてください。

Step 1 PictureProject をインストールします

インストールの前に

- ウィルスチェック用のソフトウェアは終了させてください。
- 他のアプリケーションソフトウェアはすべて終了させてください。

注意

Nikon View および Nikon Capture がインストールされている場合のご注意

Nikon View（ソフトウェア）をご使用の場合は、PictureProject をインストールする前に Nikon View をアンインストールしてください。

また、Nikon Capture（ソフトウェア）をご使用の場合は、動作環境を付属の PictureProject リファレンスマニュアルでご確認ください。

PictureProject をインストールします Windows

注意

Windows XP Home Edition/Professional、Windows 2000 Professional でご使用になる場合のご注意

PictureProject をご使用になる場合（インストール / アンインストールする場合も含む）は、「コンピュータの管理者」アカウント（Windows XP Home Edition/Professional の場合）、「Administrators」アカウント（Windows 2000 Professional の場合）でログオンしてください。

1 パソコンを起動します。

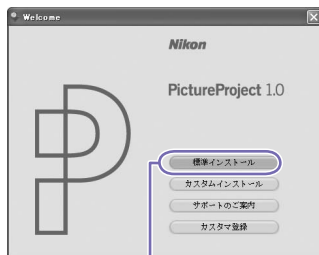
2 PictureProject ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れると、「Welcome」ウィンドウが自動的に開きます。

「Welcome」ウィンドウが自動的に開かない場合

［**スタート**］メニューから［**マイコンピュータ**］を選択して（Windows XP 以外はデスクトップ上の［**マイコンピュータ**］アイコンをダブルクリックして）、マイコンピュータウィンドウを開き、その中の CD-ROM（PictureProject）アイコンをダブルクリックします。

3 インストールを始めます。

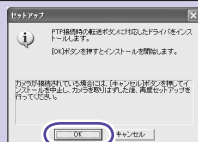
初期設定では、次のソフトウェアがインストールされます。

- PTP ドライバ（Windows XP のみ）
- マスストレージドライバ（Windows 98 Second Edition (SE) のみ）
- Panorama Maker
- Apple QuickTime 6
- PictureProject
- Microsoft® DirectX 9

［**標準インストール**］をクリックします。

4 ドライバのインストールが始まります。

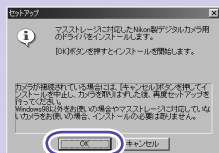
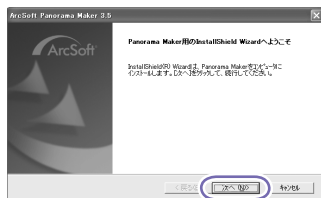
- ご使用の OS によってインストールされるドライバは異なります。

Windows XP の場合

画面の指示にしたがって PTP ドライバをインストールしてください（ご使用のパソコンの動作環境によって、Windows XP セットアップウィザードが起動する場合があります）。

Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition (Me)の場合

ドライバはインストールされません。手順 5 に進んでください。

Windows 98 Second Edition (SE) の場合

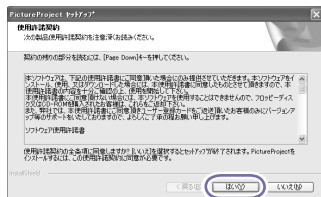
画面の指示にしたがってマスストレージドライバをインストールしてください。

5 Panorama Maker のインストールが始まります。画面の指示にしたがってインストールしてください。

［**次へ**］をクリックします。

6 Panorama Maker のインストールを完了します。

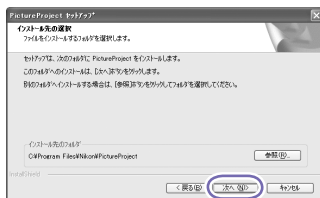
［**完了**］をクリックします。

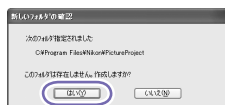
7 Apple QuickTime 6 のインストールが始まります。

［**はい**］をクリックします。

8 続いて PictureProject のインストールが始まります。

［**使用許諾契約**］の内容をよくお読みのうえ、［**はい**］をクリックしてください。

9 PictureProjectのインストール先が［インストール先のフォルダ］に表示されます。

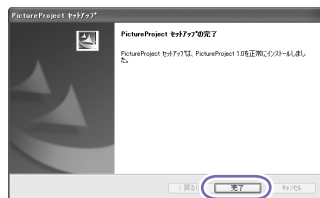
• インストール先のフォルダを変更したい場合は、［**参照**］をクリックします。

［**次へ**］をクリックします。

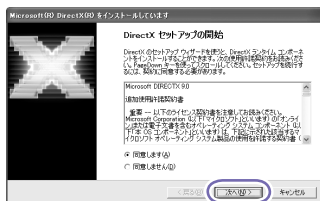
10 フォルダを作成します。

［**はい**］をクリックします。

11 PictureProjectのショートカットをデスクトップに作成します。

• ショートカットを作成しない場合は［**いいえ**］をクリックします。

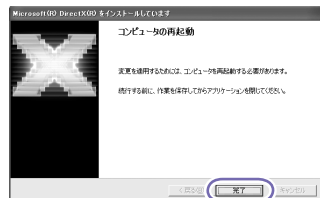
［**はい**］をクリックします。

12 PictureProjectのインストールを完了します。

［**完了**］をクリックします。

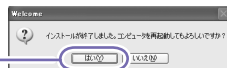
13 DirectX 9 のインストールが始まります。画面の指示にしたがってインストールしてください。

［**使用許諾契約**］の内容をよくお読みのうえ、［**次へ**］をクリックしてください。

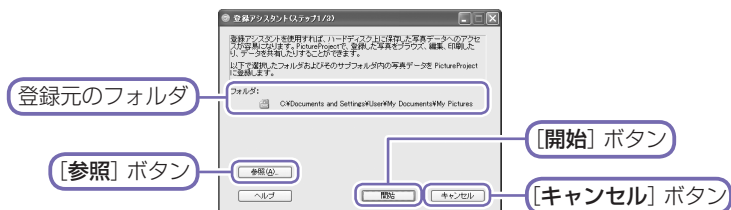
- **ご使用のパソコンに DirectX 8.1 以降がすでにインストールされている場合は、DirectX 9 はインストールされません。手順 14 に進んでください。**
- Panorama Maker をご使用になるには、DirectX 8.1 以降が必要です。

14 パソコンを再起動します。

- DirectX 9 をインストールした場合

［**完了**］をクリックします。

- DirectX 9 をインストールしなかった場合

［**はい**］をクリックします。

15 パソコンを再起動すると、「登録アシスタント」が自動的に起動します。

- すでにパソコンに保存されている画像は、登録アシスタントで登録することで PictureProject に表示することができます。

- **カメラで撮影した画像をすぐに PictureProject に転送する場合は、**［**キャンセル**］ボタンをクリックして、登録アシスタントを終了してください。
- **すでにパソコンに保存されている画像を PictureProject に登録する場合は**、次の手順にしたがって登録してください。

1 ［**開始**］ボタンをクリックすると、登録元のフォルダにあるすべての画像を PictureProject に登録します。
- 選択したフォルダ内に画像がたくさんある場合は、登録の時間が長くかかります。
- 登録元のフォルダを変更する場合は、［**参照**］ボタンをクリックして、フォルダを選択してください。

2 登録完了後、登録の完了を示すダイアログが表示されますので、［**完了**］ボタンをクリックして登録を終了します。

※パソコンに保存されている画像は、後からでも PictureProject に登録することができます。画像の登録についての詳細は PictureProject リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

16 登録アシスタントが終了したら、PictureProject ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで PictureProject のインストールは終了です。

次に撮影した画像をパソコンに転送します。→ 28 ページへ

PictureProject をインストールします *Macintosh*

注意

Mac OS X でご使用になる場合のご注意

PictureProject をご使用になる場合（インストール / アンインストールする場合も含む）は、「管理者」アカウントでログオンしてください。

1 パソコンを起動します。

2 「Welcome」ウィンドウを開きます。

PictureProject ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れてから、デスクトップ上の CD-ROM（PictureProject）アイコンをダブルクリックします。開いたフォルダ内の［**Welcome**］アイコンをダブルクリックすると、「Welcome」ウィンドウが開きます。

3 インストールを始めます。

初期設定では、次のソフトウェアがインストールされます。

- Panorama Maker
- PictureProject
- Apple QuickTime 6※

［**標準インストール**］をクリックします。

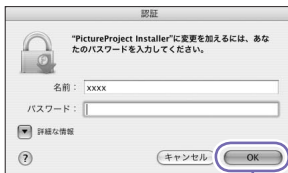
※QuickTime 6 は、ご使用のパソコンにインストールされている QuickTime が古いバージョンの場合のみ、インストールされます。

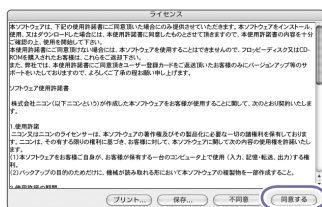
4 Panorama Maker Installer の画面が表示されます。

［**インストール**］をクリックします。

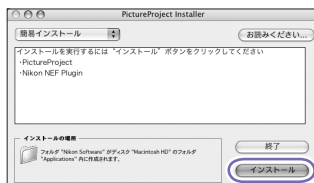
5 Panorama Maker のインストールを完了します。

[**OK**] をクリックします。

6 管理者の［名前］と［パスワード］を入力します。

管理者の名前とパスワードを入力して、[**OK**] をクリックします。

7「ライセンス画面」が表示されます。

内容をよくお読みのうえ、[**同意する**] をクリックしてください。

- [**同意する**] をクリックすると、「お読み下さい」画面が表示されます。この画面には、重要な情報が含まれていますので、必ずお読み下さい。
- 読み終えたら [**続ける**] をクリックしてください。

8 PictureProject Installer の画面が表示されます。

[**インストール**] をクリックします。

9 カメラ接続時に PictureProject を自動で表示できるように設定します。

［**はい**］をクリックします。

10 PictureProject を Dock に 登録します。

［**はい**］をクリックします。

- PictureProject を Dock に登録しない場合は、［**いいえ**］をクリックします。

11 PictureProject のインストールを終了します。

［**終了**］をクリックします。

Apple QuickTime 6 のインストール

ご使用のパソコンにインストールされている QuickTime が古いバージョンの場合は、QuickTime 6 のインストールが開始されます。画面の指示にしたがってインストールしてください。

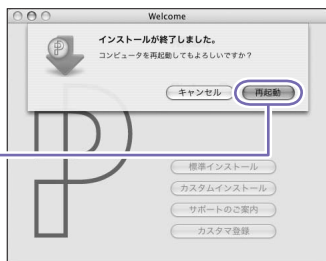
「ユーザ登録」画面では、**すべての項目を空欄のままにして**、［**続ける**］をクリックしてください。

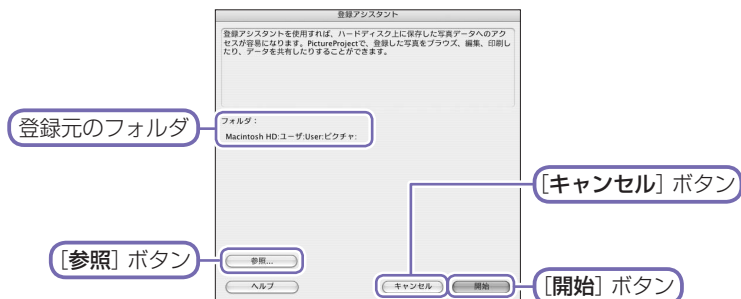
ご使用のパソコンによっては、QuickTime のインストールに時間がかかる場合があります。

12 パソコンを再起動します。

［**再起動**］をクリックします。

- QuickTime 6 をインストールした場合は、右の画面で再起動します。

［**再起動**］をクリックします。

13 パソコンを再起動すると、「登録アシスタント」が自動的に起動します。

- すでにパソコンに保存されている画像は、登録アシスタントで登録することで PictureProject に表示することができます。

- **カメラで撮影した画像をすぐに PictureProject に転送する場合は、**［**キャンセル**］ボタンをクリックして、登録アシスタントを終了させてください。
- **すでにパソコンに保存されている画像を PictureProject に登録する場合は、**次の手順にしたがって登録してください。

  1 ［**開始**］ボタンをクリックすると、登録元のフォルダにあるすべての画像を PictureProject に登録します。
  - 選択したフォルダ内に画像がたくさんある場合は、登録の時間が長くかかります。
  - 登録元のフォルダを変更する場合は、［**参照**］ボタンをクリックして、フォルダを選択してください。

  2 登録完了後、登録の完了を示すダイアログが表示されますので、［**完了**］ボタンをクリックして登録を終了します。

※1 パソコンに保存されている画像は、後からでも PictureProject に登録することができます。画像の登録についての詳細は PictureProject リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

※2 マルチユーザ環境でご使用の場合、「登録アシスタント」はインストール時のユーザ名でパソコンを再起動した場合に自動起動します。

14 登録アシスタントが終了したら、PictureProject ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで PictureProject のインストールは終了です。

次に撮影した画像をパソコンに転送します。→ 28 ページへ

Step 2 画像を転送します

画像転送時の電源について

カメラからパソコンにデータを転送するときは、確実に電源を供給できる AC アダプタ EH-54（別売）のご使用をおすすめします。**その他の AC アダプタは絶対に使用しないでください。**

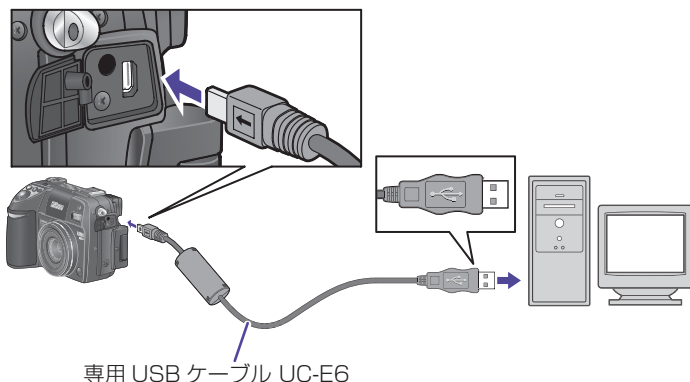
1 カメラの電源を OFF にして、画像が記録されている CF カードをカメラに入れます。

- CF カードの入れ方については、5 ページをご覧ください。

注意

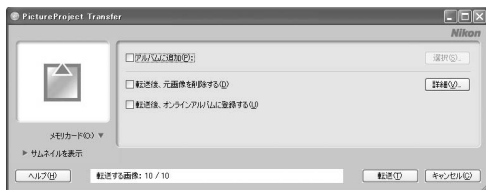
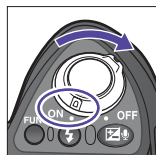
カメラをパソコンに接続する場合のご注意

カメラをパソコンに接続する前に、必ず PictureProject をインストールしてください。接続して「新しいデバイスの検出」が起動した場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてウィザードを終了してください。

2 カメラと起動しているパソコンを専用 USB ケーブル UC-E6 で下図のように接続します。

USB ハブについて

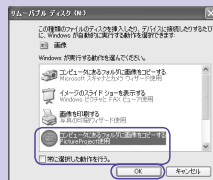
USB ハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

3 カメラの電源を ON にします。

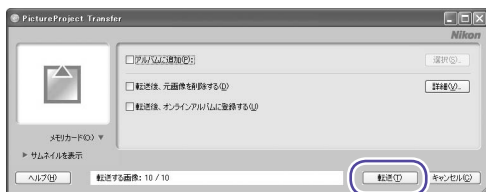
- カメラの電源を ON にすると、パソコンが自動的にカメラを認識して、パソコンのモニタ画面に PictureProject Transfer が表示されます。
- カメラの液晶モニタには何も表示されません。

Windows

Macintosh

Windows XP の自動再生

カメラの電源を ON にすると、「リムーバブル ディスク」(またはカメラ名) ダイアログが表示されます。［**コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする (PictureProject 使用)**］を選択し、［**OK**］ボタンをクリックすると、PictureProject が起動します。常に PictureProject Transfer 画面の［**転送**］ボタンで画像を転送する場合は、［**常に選択した動作を行う**］にチェックを入れることをおすすめします。

PictureProject Transfer が起動しない場合は、PictureProject リファレンスマニュアルの「デバイス登録」をご覧ください。

4 PictureProject Transfer 画面の［転送］ボタンをクリックします。

CF カードに記録されているすべての画像がパソコンに転送されます。

Windows

Macintosh

画像転送中のご注意

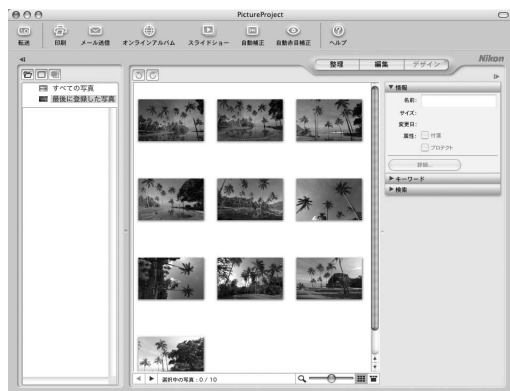
画像の転送中は、

- USB ケーブルを抜かないでください
- カメラの電源を OFF にしないでください
- CF カードを抜かないでください
- バッテリーや AC アダプタの電源ケーブルを抜かないでください

カメラおよびパソコンが正常に作動しなくなる場合があります。

5 画像の転送が完了すると、パソコンの画面に PictureProject が表示されます。

Windows

Macintosh

バージョンアップについて

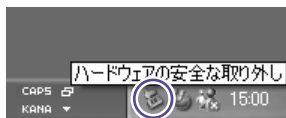
インターネットに接続したパソコンで PictureProject を起動すると、ソフトウェアのバージョンアップをお知らせするダイアログが表示される場合があります。画面の指示にしたがってバージョンアップを行い、常に最新バージョンの PictureProject をご使用になることをおすすめします。**RAW 画像を表示するには、PictureProject Version1.0.1 以降にバージョンアップする必要があります。**

6 カメラとパソコンの接続を終了します。

画像の転送が完了し、PictureProject に転送した画像が表示されたら、カメラとパソコンの接続を外すことができます。

接続を外すには、必ず次の操作をしてからカメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

Windows XP Home Edition/Professional の場合

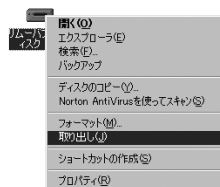
パソコン画面右下の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコンをクリックして、「USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブ (E:)※を安全に取り外します」を選択してください。

Windows 2000 Professional の場合

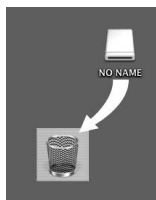
パソコン画面右下の［ハードウェアの取り外しまたは取り出し］アイコンをクリックして、「USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブ (E:)※を停止します」を選択してください。

Windows Millennium Edition (Me) の場合

パソコン画面右下の［ハードウェアの取り外し］アイコンをクリックして、「USB ディスク－ドライブ (E:) ※の停止」を選択してください。

Windows 98 Second Edition (SE) の場合

マイコンピュータの中の「リムーバブル ディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選択してください。

※「ドライブ (E:)」の E はご使用のパソコンによって異なります。

Mac OS X の場合
デスクトップ上の「NO NAME」アイコンをゴミ箱に捨ててください。

これで、COOLPIX8400 のクイックスタートガイドは終了です。

COOLPIX8400 で撮影した画像をパソコンに転送して楽しみを広げてください。

カメラおよび PictureProject の機能をフル活用したい場合には、カメラの使用説明書および PictureProject リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

PictureProject の動作環境

Windows	
CPU	Pentium 300MHz 相当以上
OS※1	Windows XP Home Edition/Professional、 Windows 2000 Professional、 Windows Millennium Edition（Me）、 Windows 98 Second Edition（SE） （すべてプリインストールされているモデルに対応）
ハードディスク	インストール時：60MB 以上の空き容量
メモリ（RAM）	64MB 以上（RAW 画像※2 の場合は 128MB 以上）の空きメモリ
モニタ解像度	800 × 600 ドット以上、16 ビットカラー（High Color）以上
その他	すべて USB ポートが標準装備されているモデルに対応

Macintosh	
OS※1	Mac OS X（Version 10.1.5 以降）
ハードディスク	インストール時：60MB 以上の空き容量
メモリ（RAM）	64MB 以上（RAW 画像※2 の場合は 128MB 以上）の空きメモリ
モニタ解像度	800 × 600 ドット以上、16 ビットカラー（High Color）以上
その他	USB ポートが標準装備されているモデルに対応

※ 1　対応 OS の最新情報に関しては、当社ホームページのサポート情報をご覧ください。
※ 2　RAW 画像対応は、PictureProject Version 1.0.1 以降となります。

株式会社ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Japan
SB4G01000201(10)
6MA04010-A